

抗うつ薬一覧(内服薬)

分類	一般名	先発品名	規格 mg		採用	薬価(円)	イミプラミン換算	初期用量 (mg/日)	常用量 (mg/日)		最大投与量 (mg/日)		用法 (回/日)	副作用相互作用	精神科カンファランス記録より)
			CP	錠					うつ	統合失調症	うつ	統合失調症			
ベンザミド系	スルピリド	ドグマチール 後発品 50mg スルピリド「アメル」	CP	50	●	先発15.9 GE 6.3	300	-	150~300	300~600	600	1200	分割投与	錐体外路症状 【慎重投与】 腎障害減量	アモキシサンとスルピリドは、同じ位置付。スルピリドは、マイルド。アモキシサンは、切れがいい。
			錠	100	●	19									
				200		26.8									
			細粒	10%	●	25.3									
				50%		71.3									
第一世代	三環系	イミプラミン	錠	10	●	9.6	150	30~70 25~75	200まで漸増	300	分割投与	抗コリン作用 アモキシサンは弱い 錐体外路症状 消化器症状 嘔吐・嘔気・便秘 心血管作用 頻脈、QT間隔延長	古典的抗うつ薬の筆頭		
				25		10									
		アミトリプチリン	トリプタノール	錠	10	●	9.6	150	30~75	150まで漸増	300	分割投与		不安焦燥が前景にあり鎮静・催眠を期待するとき	
					25	●	9.6								
		クロミプラミン	アナフラニール	錠	10		9.9	120	-	50~100	220 225	1~3		意欲減退が前景にあり発動性に期待するとき	
					25	●	20.3								
第二世代	四環系	アモキサピン	錠	10		7	150	-	25~75	効果不十分:150 重篤:300	1~数回		高齢者の不安焦燥が強い場合に即効性と鎮静を期待するとき		
				25	●	14									
				50		23.3									
				細粒	10%	●								42	
		マプロチリン	ルジオミール	錠	10	●	13.2	150	-	30~75		2~3 or 1	抗コリン作用弱い 抗ヒスタミン作用 眠気・体重増加	さみしいおばあちゃんの軽いうつ	
					25	●	27								
	ミアンセリン	テトラミド	錠	10	●	16.4	60	30	60まで増量		分割投与 or 1		四環系は、ほぼ睡眠薬。高齢者のFirst Choice		
				30		46									
二環系	トラゾドン	デジレル	錠	25	●	18.9	300	75~100	200まで増量		1~数回	抗コリン作用弱い 抗ヒスタミン作用 眠気・体重増加			
				50	●	33.3									
		レスリン	錠	25		18.9									
				50		33.3									
第三世代	SSRI	フルボキサミン	錠	25	●	37.8	150	50	150まで増量		2	消化器症状 嘔吐・嘔気・便秘 ジェイゾフトは下痢 錐体外路症状 賦活症候群 不安・焦燥・不眠・易刺 激性・敵意	強迫的性格傾向の人に使う、意欲の回復は鈍い印象		
				50		65.4									
				75	●	90.6									
		パキシル	錠	錠	5		60.5	40	うつ・うつ状態 パニック障害/社会不安障害 強迫性障害	初期10~20 常用量20~40 MAX40 初期10 常用量30/20 MAX30/40 初期20 常用量40 MAX50	12.5mg	25~50:1週間以上の間隔を空けて12.5mg/日ずつ増量	1(夕食後)	不安優位の人に使う、意欲回復の切れはいい	
					10	●	105.6								
					20	●	184.7								
		パキシルCR	錠	錠	12.5		105.6					1(夕食後)	【禁忌】 オーバーラップ→QT延長 デプロメール チザニン→血中濃度↑ ロゼレム→血中濃度↑	副作用が少ない印象、高齢者にはFirst Choiceで推奨、認知症合併のBPSDの抑うつ状態に	
					25		184.7								
	セルトラリン	ジェイゾフト	錠	25	●	106	100	25	100まで漸増	100	1				
				50	●	184.7									
	エスシタロプラム	レクサプロ	錠	10		212	20	-	10:1週間以上の間隔を空けて増量	20	1(夕食後)				
第四世代	SNRI	ミルナシبران	錠	12.5	●	21	100	25	100(高齢者60)まで漸増			2~3	消化器症状 嘔吐・嘔気・便秘 トレドミンは尿閉注意	意欲回復の切れがいい。尿閉注意	
				15		24.4									
				25	●	35.7									
				50		60.5									
		デュロキセチン	サインバルタ	CP	20	●	168.7	30	20	40:1週間以上の間隔を空けて20mg/日ずつ増量	60	1			
30						228.8									
NaSSA	ミルタザピン	リフレックス レメロン	錠	15	●	167.5	30	15	15~30:1週間以上の間隔を空けて15mg/日ずつ増量	45	1(就寝前)	抗ヒスタミン作用 眠気・体重増加	玄人向け。鎮静、睡眠、意欲改善。1/3に副作用出る。		

※ワーファリンとの相互作用が少ないSSRI → ①ジェイゾフト、②パキシル、③デプロメールの順

